

セシル アンドリュ  
Gallery HAM · 2021

---

**"AVEC CONTACT" · 「接触」する文字 · "WITH CONTACT"**

全ての展示作品には文字が含まれています。それらの文字の中には、見たり想像するだけではなく、手で触ったり身に付けることの出来るものがあります。

文字は何千にもわたって人と人をつなぎ文明を築き上げてきた言葉の物質的痕跡です。文字に触れることは、この「触れずに済ませる」時代にあって、極めて大切に思われます。文字の未来すなわち我々の未来をよく考えてみることからです。

**CIMETIÈRE · 墓地**

芯、鉄 - h 6 w 45 d 45cm



鉛筆の芯は、デジタル時代にあって、古代の遺物のように見えます。しかしこの簡素でどこにでもある道具のおかげで我々は存在してきました。この事実を忘れないために 400 の芯が墓標として立てられています。

**HALTÈRES · ダンベル #1-2-3-4-5**

パスタ、接着剤、ペンキ、ベルベットクッション - h (約) 11~15 w 45 d 45 cm



文字形パスタを型に詰め込んで固めたダンベルです。宝石のように赤いベルベットのクッションに置かれています。ダンベルは、デジタル世界の中で文字がその物質性をかじりつくされる前に、「手に取って欲しい」と訴えて

います。

### **SURVIE** ・ サバイバル Installation - Prototype

メッシュベスト、(様々な言語の) 辞典 - (Gilet) h 55 w 40cm



これらのベストには、保冷材やカイロを入れて夏の暑さや冬の寒さを防ぐための内ポケットがついています。この内ポケットにさまざまな言語で書かれた辞典のページを裁断して詰め込みました。保冷材やカイロが体温の平衡を保つために必要であるように、物質化した文字に触れることは精神の安定に欠かせないと考えたからです。

\*自由に着てみて下さい。

### **Progression - Régression** ・ 進歩 - 退歩

辞典、接着剤、鉄 - h 180 w d variable



蔓は巻きつきながら上へ上へと伸びていきますが、その蔓に触発されたインスタレーションです。辞書のページを一枚ずつ鉄の棒に巻きつけギュッと圧縮しました。文明は文字によって進歩しましたが、文字を非物質化する文明は退歩するのではないのでしょうか。

### **PILIER DE CIVILISATION** ・ 文明の柱

辞典、接着剤、ハトメ鋸、鉄 - h 170 w 45 d 45cm



文字は文明を支える柱です。一冊の辞書のページを折って棒状にし、それらを鋸でつなげて文字の鎖を作り、四隅に立てた鉄棒を支えに柱に組み上げました。柱の真ん中が中空であるのは、「現実是不可能」(ラカン)、すなわち現実を言葉で語り尽くすことはできないからです。文明を支える柱は元来不安定なのです。文字の物質性が希薄になれば柱はますます不安定になるでしょう。そして文明も。

